

非鉄金属製造業(非鉄金属素形材(鋳物・ダイカスト)製造業)に係る総合的かつ体系的な職務分析の推進に関する調査研究資料要約版

1書名	非鉄金属製造業(非鉄金属素形材(鋳物・ダイカスト)製造業)に係る総合的かつ体系的な職務分析の推進に関する調査研究資料				
2発行番号	調査研究資料No. 127-1	3分野	生涯職業能力開発体系	4担当室	調査研究室

5目的

中小企業等が、日常業務の合間に社内の仕事や作業をゼロから洗い出し、従業員の人材育成計画や教育訓練計画等を策定するには大変な労力と時間が必要となります。本調査研究は、業種ごとに段階的かつ体系的に職務や仕事を整理し、必要な職業能力等を「見える化」することによって、企業において段階的かつ体系的な人材育成計画や教育訓練計画等を立てていただくことを目的に進めている調査研究です。

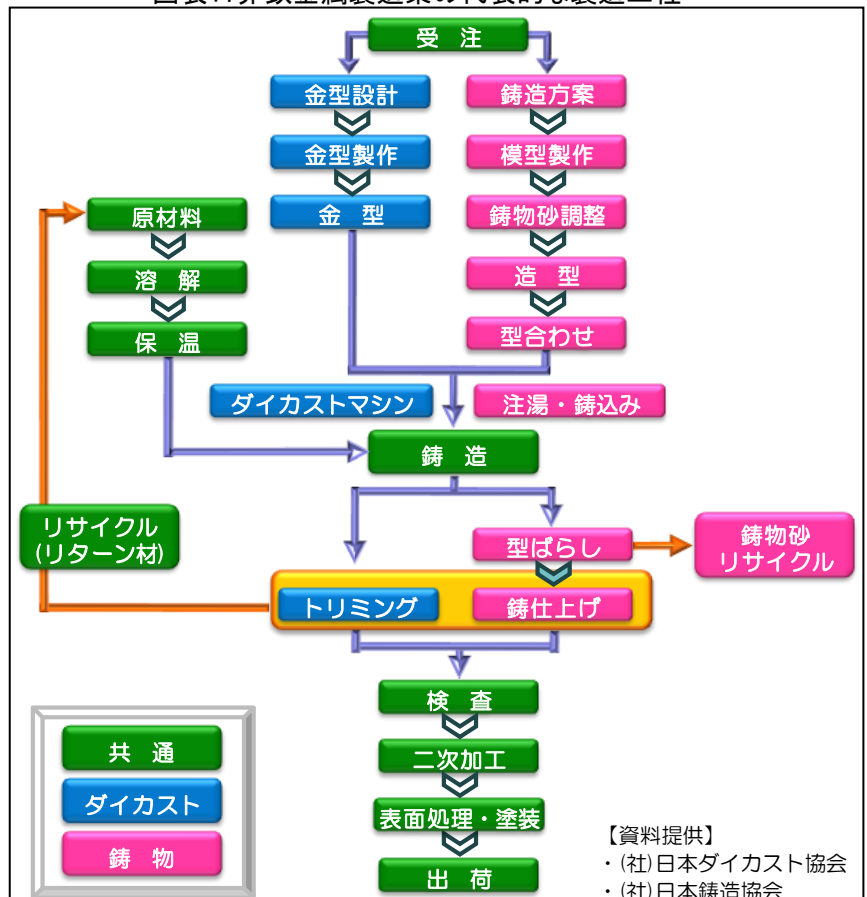
6概要

本調査研究は、中小企業等が人材育成において抱えている課題や問題(技能・技術の承継ができない、優秀な人材を確保したい、従業員に目標とやりがいを持たせたい、従業員ごとに必要な研修や研修計画の作り方が分からない等)を解決する一助として、産業団体等の協力を得て、それぞれの業種ごとに「職務」を遂行するために必要な能力要素を洗い出し、団体・企業等が行う能力開発や人材育成等に係る計画を効果・効率的に進めていただくよう整備しているものです。

本調査研究資料は、(社)日本鋳造協会及び(社)日本ダイカスト協会の協力のもと、非鉄金属「非鉄金属ダイカスト製造業」属製造業のうち「非鉄金属鋳物製造業」及び「非鉄金属ダイカスト製造業」の製品の受発注から製造、出荷までの一連の流れの中で行われる仕事や作業、またその作業を行うにあたって必要となる知識や技能・技術を洗い出し、また、仕事については個々にレベル間の調整を行い、段階的かつ体系的にまとめたものです。

このデータ(職業能力体系のモデルデータ)は、「非鉄金属鋳物製造業」及び「非鉄金属ダイカスト製造業」の標準的な仕事や作業等を整理したものです。自社で活用するにあたっては、本モデルデータをベースに自社の特徴などを付加して、オリジナルの職業能力体系のモデルデータを構築していただき、能力開発や教育訓練の計画・実施に活用していただけます。

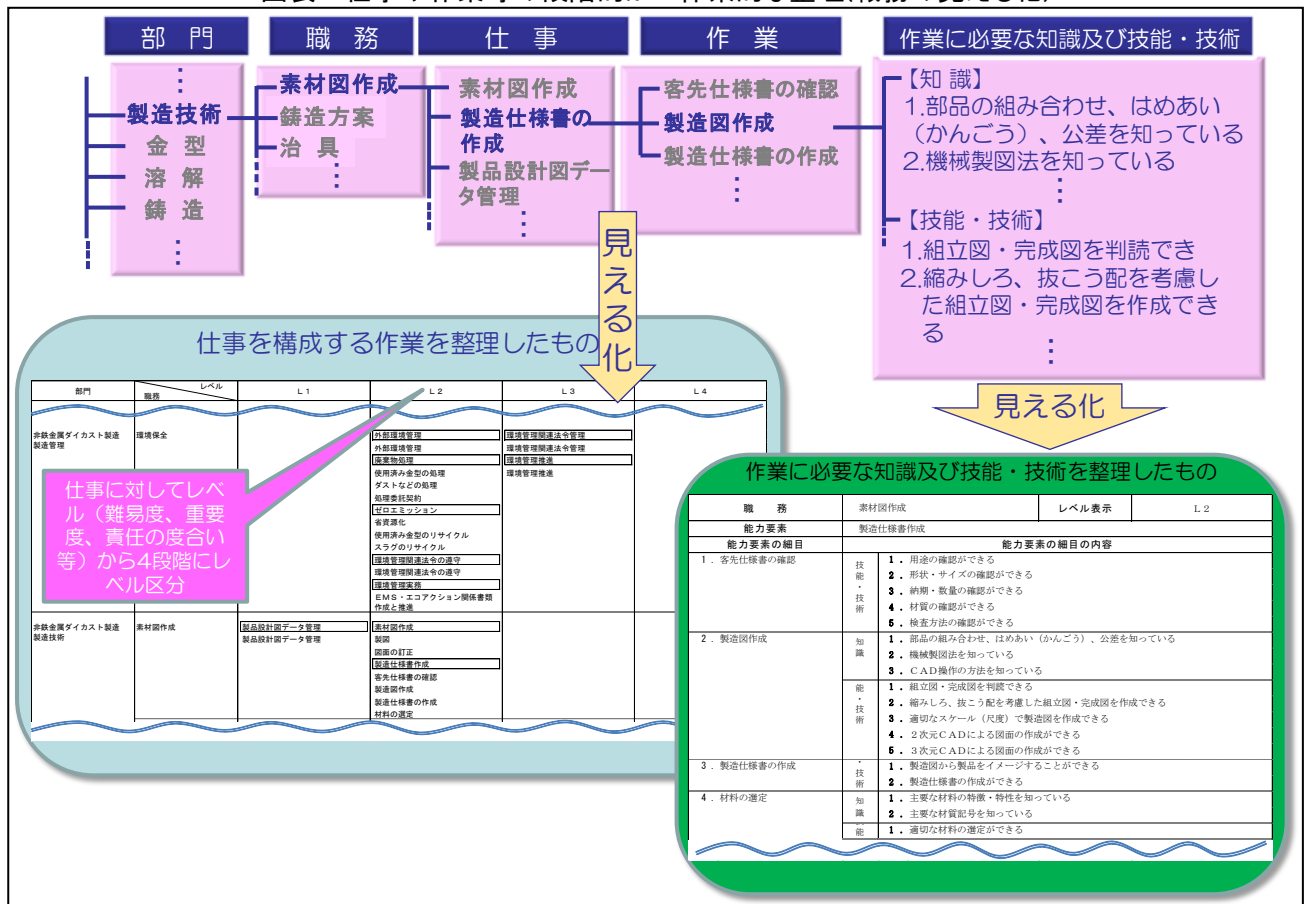
図表1:非鉄金属製造業の代表的な製造工程



7職務分析に係るポイント(一部抜粋)

- ・企業規模は、非鉄金属鋳物製造業を20名程度、非鉄ダイカスト製造業を30名程度とした。
- ・「管理事務系」「非鉄金属鋳物製造」「非鉄金属ダイカスト製造」に大きく分類し、それぞれについて部門、職務等を整理することとしました。
- ・発注者からの完成品をイメージした図面、それに基づき現場で制作する型の図面等、多くの図面を作成又は取り扱うため、図面に係る表現の統一を図りました。
- ・「経営」の戦略として、「リスク管理」、「PDCA」、「事業承継」を入れました。
- ・経理の「購買」については、職務として「金型外注」、「資材購買」を含めて整理し、発注者と製造業者と外注先の関係を整理して記述しました。
- ・ダイカスト製造に係る「金型」の位置づけは重要であるため、「製造部門」に設定し職務分析を行いました。
- ・「環境保全」については、実務と管理でレベル差を設け、職務分析内容を整理しました。
- ・「二次加工(後処理)」の職務「機械加工」では、汎用機別の仕事として「補助」と「実務」を設定し、また「NCのプログラミング」など詳細に作業内容の洗い出しを行いました。

図表2: 仕事や作業等の段階的かつ体系的な整理(職務の見える化)



8本書の活用方法

生涯職業能力開発体系は、後継者・管理者・社員の人材育成や人材確保に関して、「仕事の見える化」・「能力の見える化」・「目標の見える化」等によって課題発見・解決に活用できます。例えば、自社のISO認証取得や人材育成、技能伝承に反映させる技術・技能マップの基礎資料としての活用事例があります。

注記 本報告書等は、能力開発研究センター「職業能力開発ステーションサポートシステム

- ・能力開発研究センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/>